



Cisco Vision Director でのサービス リソースの管理

イベント前に、CPU、メモリ (RAM)、ディスク使用率に関するシステム要件が満たされており、十分なリソースがあることを確認してください。

注: Cisco Vision Director でのストレージ容量の表記単位である KB は 1024 バイトに相当し(別名キビバイト (KiB))、1000 バイトではありません。

同様に Cisco Vision Director で使われている単位 MB は 1,048,576 (1024 X 1024) バイトを意味します。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- システム使用率のモニターリングに関する情報 (263 ページ)
- ディスク使用率の管理法 (268 ページ)
- データベース メンテナンスの実行 (269 ページ)

システム使用率のモニターリングに関する情報

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- サーバー使用率の情報 (263 ページ)
- サーバー アラートしきい値 (264 ページ)
- DMP アラートしきい値 (265 ページ)
- DMP アラートしきい値 (265 ページ)
- メモリ使用率 (267 ページ)
- ディスク使用率 (267 ページ)

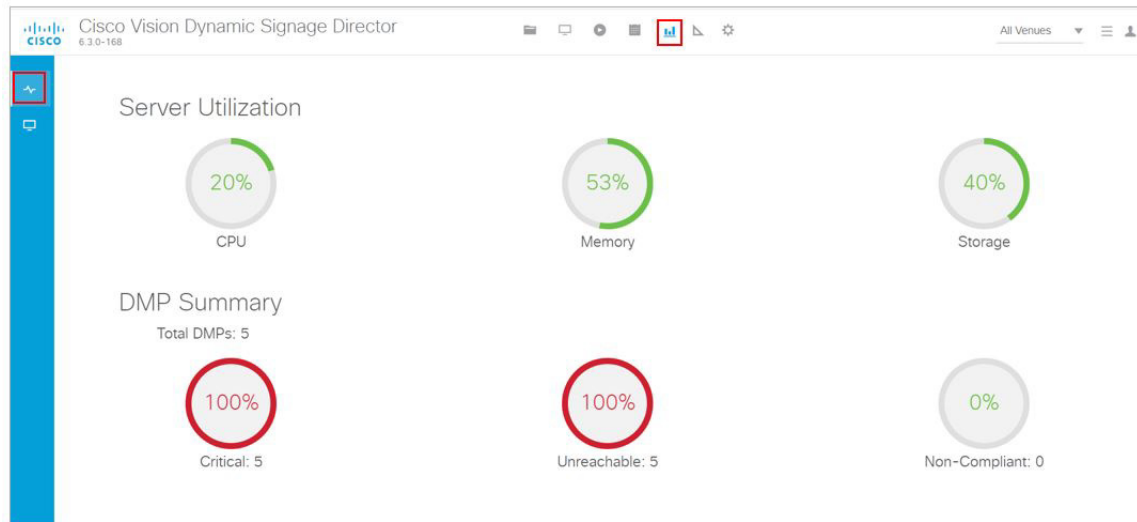
サーバー使用率の情報

Cisco Vision Director Server のモニターリングサービス (Director Service OS) では、CPU、メモリ (RAM)、ストレージ使用率について、600 秒間隔でシステムステータスのポーリングが実行されます。

使用率のステータスは、[System Status] で設定するサーバーアラートしきい値に基づいて報告されます (図 1 (264 ページ))。

[Overview] インターフェイスにある [Server Utilization] パネルには、Cisco Vision Director Server での CPU、メモリ、ディスク容量使用率が一目で確認できるようゲージ形式で表示されます (図 1 (264 ページ))。

図 1 Cisco StadiumVision Director サーバーの使用率と DMP の概要



重要: CPU またはディスクの使用率が 90% を上回るか、あるいはメモリ使用率が 95% を上回った場合、[System Status] にはクリティカルアラートが表示されます。これらのしきい値を見つけるには、[Configuration] > [System Configuration] > [Management Dashboard] > [Server Alert Thresholds] をクリックします。

ヒント: 現在の CPU、メモリ、およびディスクの使用率は、日次の Vision Health Report でも確認できます(設定されている場合)。

表 1(264 ページ)各サーバープロファイルのサーバー使用率情報を一覧表示します。

表 1 展開プロファイルごとのサーバー使用率

プロファイル	メモリ	コアごとのクロック速度 (GHz)	vCPU
最小	8 GB (8192 MB)	19. GHz	6
小規模	8 GB (8192 MB)	2.53 GHz	6
標準	32 GB (32,768 MB)	2.53 GHz	24
大規模	60 GB (61,440 MB)	3.6 GHz	32

サーバー アラートしきい値

使用率のステータスとアラートは、[System Configuration] で設定するサーバーアラートしきい値に基づいて報告されます。

CPU、空きメモリ、ディスク容量について設定されるアラートしきい値には、次の 2 種類があります。

- **[Warning]:** 警告しきい値が規定するのは、サーバー使用率ゲージにおける黄色のエリアです。
- **[Error]:** エラーしきい値が規定するのはサーバー使用率ゲージの赤いエリアであり、これは重要(クリティカル)なアラートに対応します。

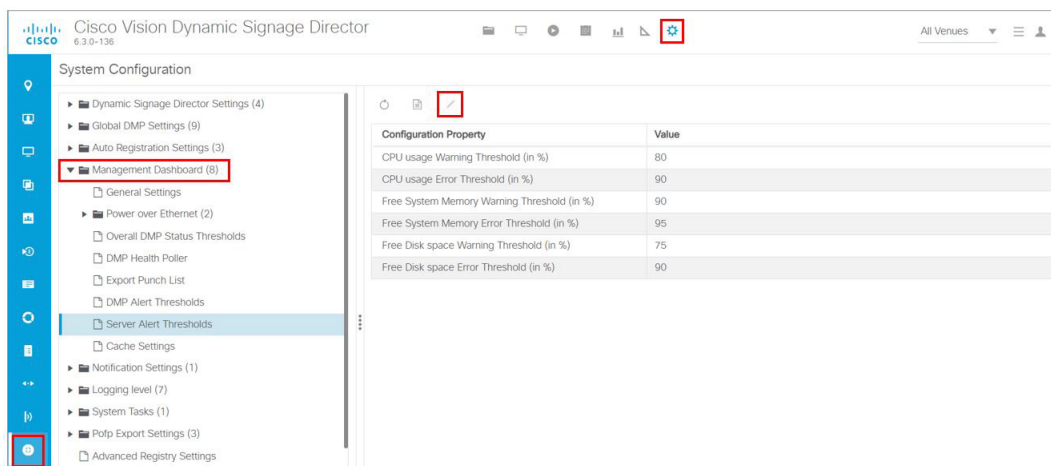
システム使用率のモニターリングに関する情報

サーバーのアラートしきい値のデフォルト値を確認するには、次の手順を実行します。

1. [Click Configuration] > [System Configuration] > [Management Dashboard] > [Server Alert Thresholds] をクリックします。
2. [Configuration Property] パネルから [Value] を選択します。
3. 変更を加えるには [Edit] をクリックします。[Edit - Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。
4. 新しい [Value] を入力して、[Save] をクリックします。
5. [Refresh] をクリックします。

図 2(265 ページ)に、各種システム エリアにおけるデフォルトのしきい値を示します。

図 2 サーバー アラートしきい値のデフォルト値



DMP アラートしきい値

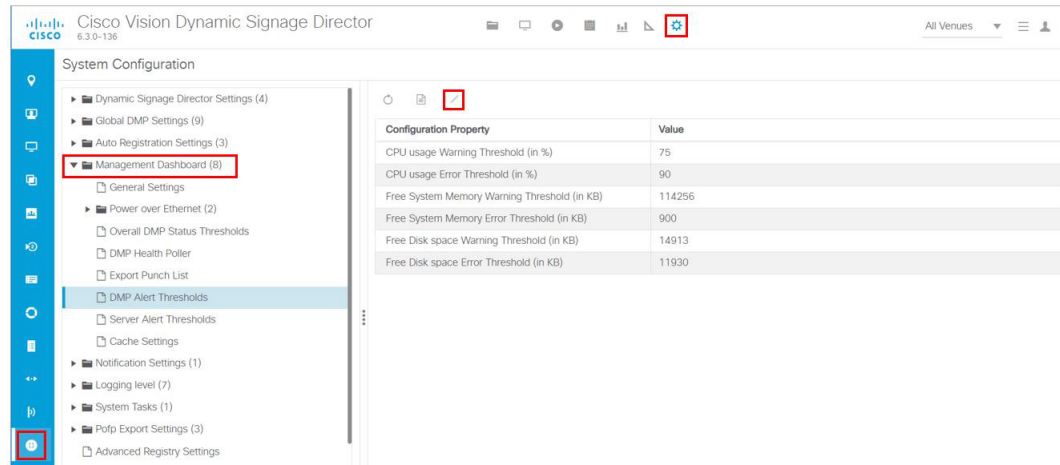
使用率のステータスとアラートは、[System Configuration] で設定する DMP アラートしきい値に基づいて報告されます。

DMP アラートしきい値のデフォルト値を確認するには、次の手順を実行します。

1. [Click Configuration] > [System Configuration] > [Management Dashboard] > [DMP Alert Thresholds] をクリックします。
2. [Configuration Property] パネルから [Value] を選択します。
3. 変更を加えるには [Edit] をクリックします。[Edit - Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。
4. 新しい [Value] を入力して、[Save] をクリックします。
5. [Refresh] をクリックします。

図 3(266 ページ)に、各種システム エリアにおけるデフォルトのしきい値を示します。

図 3 DMP アラートしきい値



CPU 使用率

仮に CPU 使用率が 90% のアラームしきい値を上回っても、短期間であれば許容範囲内かもしれません。ただし、CPU 使用率が高いままの場合は、ランナウェイ プロセスまたはタスクの問題が発生しており、使用可能なすべての CPU リソースを消費してシステムの応答性を低下させます。

問題の解決方法を特定するには、システムを調べる必要があります。管理ダッシュボードには、最後に実施されたレポートがキャッシュされています。常に新しい要求/更新を実行して最新の情報を取得するようにしてください。システムに関する特定の情報を表示するには、System State Report を実行します。[More] > [System State Report] をクリックします。データの使用法と取得に関する詳細については、『Cisco Vision Administration Guide, Dynamic Signage Director』の「System State Reports」モジュールを参照してください。

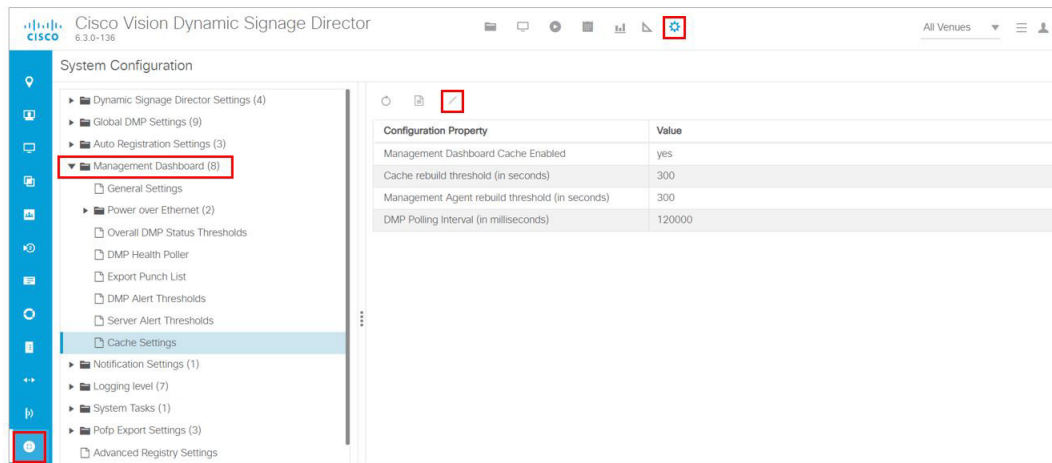
キャッシュ値を編集するには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Management Dashboard] > [Cache Settings] をクリックします(図 4 (267 ページ))。
2. パネルから [Configuration Property] を選択します。
3. [Edit] をクリックします。[Edit - Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。
4. 新しい [Value] を入力して、[Save] をクリックします。
5. [Refresh] をクリックします。

注: ネットワークと VM クラスタ インフラストラクチャの両方の初期トラブルシューティング(該当する場合)を実行します。必要に応じて、シスコテクニカル サポートでケースをオープンして System State Report ツールで得られるスレッドのダンブを提供してください。

システム使用率のモニターリングに関する情報

図 4 管理ダッシュボードのサーバー使用率と監視対象サービス



メモリ使用率

CPU 使用率が 90 % のアラームしきい値を長時間上回っている場合、システム中の何かが必要量より多くのメモリを消費している可能性があります。

表 2(267 ページ)に、Cisco Vision Director サーバーのメモリ合計を表示します。

重要:メモリの使用率が 90 % を上回る場合は、シスコ テクニカル サポートでケースをオープンしてください。

表 2 メモリ使用率としきい値3.6 GHz

設定	RAM	Clock Speed	vCPU 数
最小	8 GB	1.9 GHz	6
小規模	8 GB	2.5 GHz	6
標準	32 GB	2.5 GHz	24
大規模	60 GB	3.6 GHz	32

ディスク使用率

ディスク使用率がしきい値を上回った場合、ディスク容量の空きスペースがなくなっています。ユーザーのコンテンツ以外にも、バックアップ ファイル、再生証明ファイル、ログ ファイルの数が増えすぎると、ディスク容量を消費する原因となります。

表 3(267 ページ)に、ハードディスクの合計サイズと推奨される最小空き容量を示します。

表 3 ハードディスクの容量

ディスク サイズ	サイズ
ディスク サイズの合計	320 GB
最小空き容量	15 GB

重要: 毎日実行するバックアップ タスクが、制限以上にハード ディスク容量を消費して、想定外のシステム障害を発生させる可能性があります。

ディスク使用率の管理法

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- [Cisco Vision Director サーバーでのファイル保持期間の変更 \(268 ページ\)](#)
- [システム ファイルの削除 \(268 ページ\)](#)

Cisco Vision Director サーバーでのファイル保持期間の変更

ユーザー ロール: インストーラ (管理者) (Installer (Administrator))

Cisco Vision Director では、バックアップとログ ファイルの保持期間を **Text Utility Interface (TUI)** で設定できます。

デフォルト設定は次のとおりです。

- バックアップ ファイル—1 つのファイル。バックアップ保持ポリシーでのファイル数は、**2、5、7、10** のいずれかに変更できます。
- ログ ファイル—15 日。ログ保持ポリシーの日数は、**5** または **10** 日に変更できます。

注意: 全体的なディスクの使用率とバックアップ コンテンツのサイズを追跡して、保持しておきたいファイル数がシステム リソースでサポートできるようにしてください。

TUI の使用法の詳細については、『[Cisco Vision Director Server Administration Guide](#)』の「[Cisco Vision Director Text Utility Interface](#)」モジュールを参照してください。

ファイルの保存期間を変更するには、次の手順を実行します。

注: 保持ポリシーは、プライマリサーバーとセカンダリサーバーの両方で変更する必要があります。

1. TUI にログインします。
2. [\[Cisco Vision Server Administration\]](#) > [\[Retention Policy\]](#) に移動します。
3. [\[Backup/restore Files\]](#) メニューまたは [\[Log Files\]](#) メニューを選択して、保持期間を示す文字列を入力します。

システム ファイルの削除

ユーザー ロール: インストーラ (管理者) (Installer (Administrator))

TUI を使用すると、次のタイプのシステム ファイルを削除することができます。

- ログ ファイル
- システムステートレポート
- ISO アップグレード ファイル
- バックアップ ファイル

重要: TUI のクリア ファイル オプションは、選択されたファイル タイプのすべてのインスタンスを削除します。

TUI の使用に関する詳細については、『[Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director](#)』の「[Cisco Vision Dynamic Signage Director Server Text Utility Interface](#)」モジュールを参照してください。

データベース メンテナンスの実行

システム ファイルを削除するには、次の手順を実行します。

1. TUI にログインします。
2. [Troubleshooting] > [Disk Monitoring] > [Delete Files] に移動します。
3. [ファイルの削除 (Delete Files)] メニューで、削除するファイル タイプを示す文字オプションを入力します。
4. プロンプトで、削除を確認します。

データベース メンテナンスの実行

ユーザー ロール: インストーラ (管理者) (Installer (Administrator))

データベース メンテナンスの必要性を判断する方法の 1 つは、バックアップ ログ (/var/log/svd-config/backup-YYYYMMddHHMMSSz.log) を確認することです。テーブルの更新が「OK」でなかった場合や最新でなかった場合は、データベースメンテナンスを実行します。

注: パフォーマンスの低下は、データベースメンテナンスの必要性を示唆する兆候の 1 つです。

TUI の使用に関する詳細については、『Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director』の「Cisco Vision Director Text Utility Interface」モジュールを参照してください。

重要: メンテナンスの完了後は、Cisco Vision Director ソフトウェアを再起動する必要があります。ベストプラクティスとして、データベース メンテナンスの開始前に Cisco Vision Director ソフトウェアをシャットダウンしておき、メンテナンス完了後に再起動することが推奨されます。ただし、メンテナンス開始前にシャットダウンしておかなかった場合でも、Cisco Vision Director ソフトウェアは再起動させる必要があります。

データベースのメンテナンスを実行するには、次の手順を実行します。

1. TUI にログインします。
2. (推奨) Cisco Vision Director ソフトウェアをシャットダウンします。メインメニューから、[Cisco Vision Server Administration] > [Database Maintenance] を選択します (図 5 (269 ページ))。

図 5 TUI のデータベース メンテナンス オプション

```

Please choose one of the following menu options:

a) Display Software Version
b) Upgrade Server
c) Restart Dynamic Signage Director software
d) Shutdown Dynamic Signage Director software
e) Setup automatic backup and restore
f) Re-Run CiscoVision initial configuration
g) Retention Policy
h) Database Maintenance
i) Clear Switch Host Keys
j) Failover
k) Setup Server Profile
l) Reboot
m) Power Off
n) Clean up content import history table
o) Backup system data
p) Restore all system data from system backup
q) Clean up generic content table
r) Restore TV Off Zone Assignments
R or < or .) Return to prior menu
  
```

3. 確認プロンプトで、[Y] を押して再起動プロセスを開始します (図 6 (269 ページ))。

図 6 データベース メンテナンスの確認プロンプト

```

-----
Database Maintenance.
This will repair and optimize the database. Ideally, Cisco Vision Dynamic Signage Director should not be running to do this operation. Do you want to continue?
PRESS Y TO CONTINUE, PRESS N TO CANCEL
  
```

データベース メンテナンスの実行

4. メンテナンスを実行すると、各テーブルのステータスが更新されます。
5. データベース メンテナンスの完了後、Cisco Vision Director ソフトウェアを再起動させます。
6. TUI のメインメニューから、[Cisco Vision Server Administration] > [Restart Dynamic Signage Director Software] に移動します。